

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分  
 【発行日】平成20年9月4日 (2008.9.4)

【公表番号】特表2004-509751(P2004-509751A)  
 【公表日】平成16年4月2日 (2004.4.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2004-013  
 【出願番号】特願2002-530421(P2002-530421)  
 【国際特許分類】

**B 0 1 J 20/06 (2006.01)**

**C 0 2 F 1/28 (2006.01)**

**B 0 1 J 23/745 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 J 20/06 Z A B C

C 0 2 F 1/28 A

C 0 2 F 1/28 B

C 0 2 F 1/28 K

C 0 2 F 1/28 P

B 0 1 J 23/74 3 0 1 M

【手続補正書】  
 【提出日】平成20年7月16日 (2008.7.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 媒体が貫流することができる装置において、該装置が元素 A l、M g、T i の酸化物および / または ( オキシ ) 水酸化物により凝固される酸化鉄および / またはオキシ水酸化鉄からなる塊状の吸着媒体 / 反応媒体を含有することを特徴とする、媒体が貫流することができる装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載の装置を有する水処理装置。

【請求項 3】 吸着媒体 / 反応媒体を製造する方法において

( a ) アルミニウム、マグネシウムおよび / またはチタンの酸化物もしくは ( オキシ ) 水酸化物またはこれらをエージングおよび脱水したその後の生成物を、F e ( O H ) <sub>2</sub> を含む酸化鉄および / またはオキシ水酸化鉄の水性懸濁液に混入し、かつ次いで

( b 1 ) 該懸濁液を乾燥させて固体の状態が得られ、かつ固体の材料を引き続き機械的に所望の形状および / または大きさへと粉碎するか、または

( b 2 ) 該懸濁液を場合により前乾燥した後、半固体の状態で機械的に形状付与し、かつ引き続き ( さらに ) 乾燥させて固体の状態が得られることを特徴とする、吸着媒体 / 反応媒体の製造方法。